

# 厳しい残暑

## もうすぐ秋

9月。残暑は厳しく作業中の気温は30℃近く。三平体験型農園の作業は基本的には午前中の9時から11時まで。このような暑い時期は作業を短縮して行う。今月までは作業時間を30分短縮して、臨機応変に対応した。それもメンバーの体調を気遣ったこと。皆がお互いに思いやりを持ち、活動できることは素晴らしい。今月は、12月に収穫予定の大根・人参の土づくり・畝作り・種蒔きを行った。（かなり遅い種蒔き時期となる）また冬越し予定で育てる玉葱の苗床を作り、種蒔きをした。毎年、7月末ごろ行っていた収穫祭は、今年も新型コロナウイルス流行のため中止。夏の収穫祭用に保管しておいた玉葱・じゃがいもが皆に配分された。来年はウイルスが落ち着いて、皆で安心して収穫祭が行われることを望む。写真（下）は、三幸会世話役を中心に、野菜談議が行われている様子。法蓮草・春菊・チンゲン菜の種蒔き、ブロッコリー・サニーレタスはポットで育苗したものを植え付けた。ニンニクは種球を植え付けた。かぼちゃ・オクラは今月で収穫は終わり。毎年心配される台風の被害は今年は受けなかった。



さて、世話役を中心に一息ついて話し合い(^^) /

写真（右）は手前から、さつま芋・落花生・葱・大根畑が広がっている。その脇で、小松菜・ゴボウ・里芋・こんにゃくを育てている。

2022. 9.26の風景



皆で葱畑の除草作業

葱畑は広いため、皆で協力して雑草取りを行う。肥料には鶏糞を蒔き、さび病対策としてみかん皮を散布した。写真（上）。



里芋、とても元気です！

来月収穫予定の里芋がとても順調に育っている。写真(上)。



苗植え付け（20株）

ブロッコリーは栄養満点。12月に収穫予定。

なすの切り戻しの指導が園主より行われた。（秋なすの収穫に向けて）また、園内で採れた葡萄をお土産に頂いた。

2022年9月  
三平果樹園  
体験型農園  
活動記録

編集：吉田雅子